

事業番号

0155

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	高等教育企画課		高等教育企画課長 義本博司		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定) 「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各国が世界規模での人材獲得競争を繰り広げる中、海外の優秀な人材を惹きつけるに至っていない日本の大学の現状を打破するため、国内外の優秀な学生・教員が集い交流できる環境を有する国際化の牽引役となる大学を拠点として創出。特に、アジア地域の知的人材の交流の活発化を図り、東アジアにおける共同体の形成にも貢献。 平成23年度からは行政刷新会議事業仕分け第3弾の評価結果を受け、「大学の国際化のためのネットワーク形成事業」として、選定大学間や国際化に積極的な大学とのネットワーク化の推進や産業界との連携により、これまでの教育資源・成果の水平展開や内容の充実を図り、一層の大学の国際化を図ることとしている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	留学生受入数、留学生比率や外国人数員比率、海外大学との新たな教育連携プログラムの実施等の達成目標を設定した上で、以下の国際化拠点としての基礎的インフラ整備や実践的な高度専門職業人材育成等を行う大学を、公募により選定し、重点的な財政支援を行う。(定額補助) 留学生受入れの「呼び水」となる英語で学位が取得できるプログラムの開設、留学生の学修・生活支援等のための体制整備、留学生受入れのワンストップサービス海外拠点の整備、海外有力大学との単位互換やダブル・ディグリー等新たな教育連携プログラムの開発、大学間交流協定の拡大、選定大学間等のネットワーク形成、産学連携体制の構築。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	4,083	3,770	2,988	2,612	
		繰越し等	-	0	0	0		
		計	-	4,083	3,765	2,991	2,612	
	執行額	-	4,052	3,587				
	執行率(%)	-	99.2%	95.3%				
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度 (事業開始前)	21年度	22年度
選定大学における外国人学生受入数		成果実績	人	-	20,729	調査中	50,000	
		達成度	%	-	94.5	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	英語コースの開設数	活動実績 (当初見込み)	コース	-	7	79 (82)	(124)	
		海外大学共同利用事務所の開所数	活動実績 (当初見込み)	か所	-	4	7 (8)	(8)
単位当たりコスト	58百万円 (百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=22年度執行額(3,566百万円)/取組件数(62件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国際化拠点整備事業補助金	2,968百万円	2,591百万円	※対象経費(補助単価)の見直しによる減				
	審査・評価等経費	19百万円	19百万円					
	国際化拠点整備事業費補助金事務費	0.7百万円	1.9百万円					
計	2,988百万円	2,612百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、13大学で英語コースが79コース開設され、海外大学共同利用事務所が7カ所で開設されるなど、留学生受入れ等の国際化拠点の整備が進んでいる。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・平成23年度においては、事業仕分け第3弾の評価結果を踏まえ、これまでの国際化拠点整備事業の在り方を見直し、事業の成果を我が国の大学全体で共有できるように「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」として組み立て直している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：この事業は、国内外の優秀な学生・教員が集い交流できる環境を有する国際化の牽引役となる大学を拠点として創出すること及びアジア地域における知的人材の交流の活発化を図り、東アジアにおける共同体の形成に貢献することを目的とした国公立大学に対する補助事業であり、予算措置手法・実施体制の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業は、昨年及び一昨年の事業仕分けの評価を踏まえ、予算の縮減や事業内容の組み直しを行ってきたところであるが、引き続き事業内容、予算執行の実績を精査し、事業の重点化・効率化などに努め、予算の見直しを図るべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
これまでの取組内容の執行状況等を踏まえ、対象経費(補助単価)を絞りこむこと等により、概算要求に▲290百万円反映した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
● 事業仕分け第1弾(事業番号3-52国際化拠点整備事業(グローバル30)) ・WGの評価結果:予算要求の縮減(廃止4名、予算計上見送り2名、予算要求の縮減6名(半額2名、1/3 縮減1名、その他3名(2割縮減1名、7割縮減1名、9割縮減1名)、予算要求通り2名) ・国際化拠点整備事業(グローバル30)、大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム及び大学教育・学生支援推進事業については、WGとしては、予算要求の縮減と結論する。そもそも大学の本務としてやるべきだという意見、結果・効果が不明だという意見、学生の雇用に関する課題は重要だという指摘も複数あった。 ● 事業仕分け第3弾(事業番号A-27(1)国際化拠点整備事業) ・WGの評価結果:一旦廃止し、組み立て直す(①国の事業として廃止7名、②来年度の予算計上は見送り1名、③予算要求の縮減3名(a.半額0名、b.1/3程度を縮減2名、c.その他1名)、④予算要求通り1名) ・とりまとめコメント:国際化拠点整備事業については、廃止の評価者7名のコメントを見ると、趣旨・目的はいいのだが今のやり方ではだめだということで、一旦組み立て直すとのことで廃止という意見が複数あった。予算要求通りという評価者も、使途自由化を要件に予算要求通りとなっている。評価者全体の方の意見は、この大学の国際化拠点にするという大きな目標・目的については、今のやり方ではつながるとは思えないという意味で、一旦白紙で、どういうやり方をしたら国際拠点を作っていけるのか組み立て直して欲しいということを結論としたい。 ● 事業関連HP http://www.uni.international.mext.go.jp/			

大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業
(平成22年度事業名:国際化拠点整備事業)

文部科学省
3,587百万円

諸謝金、職員旅費、委員等旅費、庁費
0.8 百万円 を含む

「国際化拠点整備事業プログラム委員会」の審査・評価
結果に基づき、採択大学を決定するとともに、採択大
学に対し、国際化拠点整備事業費補助金を交付。

【公募・補助】

A.大学(全62件)
総額:3,566百万円

【補助】

B.(独)日本学術振興会
総額:19百万円

大学において、英語で学位が取
得できるコースの設置、外国人
教員の配置、外国人学生受入
れのための海外広報拠点の整
備、事務体制の整備等、我が国
を代表する国際化拠点としての
総合的な体制整備等を実施。

「国際化拠点整備事業プログラ
ム委員会」を設置し、本補助金事
業の選定に係る審査、各大学の
取り組みの成果に係る評価等の
業務を実施。

資金の流れ

(資金の受け
取り先が何を行
っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごと に最大の金額が支出され ている者について記載す る。費目と使途の双方で 実情が分かるように記載)	A.東京大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	日本語・日本事情教育担当非常勤講師謝金、理学系国際戦略室特任専門職員・工学系担当特任講師雇用等経費等	199			
	事業推進費	工学系教材開発消耗品、選抜要項・募集要項等印刷製本費、通信運搬費、文書の英文化等雑役務費、留学生のWebからの受入システム構築委託費等	63			
	旅費	国内旅費、外国旅費(留学フェア、口答試問の実施等)、外国人招へい等旅費等	34			
	計		296	計		0
	B.(独)日本学術振興会			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	プログラム委員会謝金、派遣職員雇用等経費	10			
	旅費	プログラム委員会国内旅費、実施状況調査のための外国旅費	6			
	事業推進費	消耗品、事業概要印刷製本費、プログラム委員会会議費、会議記録作成委託費	3			
	計		19	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	東京大学国際化拠点整備事業	296	-	-
2	筑波大学	筑波大学国際化拠点整備事業	262	-	-
3	早稲田大学	早稲田大学国際化拠点整備事業	261	-	-
4	九州大学	九州大学国際化拠点整備事業	260	-	-
5	京都大学	京都大学国際化拠点整備事業	255	-	-
6	名古屋大学	名古屋大学国際化拠点整備事業	246	-	-
7	立命館大学	立命館大学国際化拠点整備事業	234	-	-
8	東北大学	東北大学国際化拠点整備事業	223	-	-
9	同志社大学	同志社大学国際化拠点整備事業	203	-	-
10	大阪大学	大阪大学国際化拠点整備事業	202	-	-

B.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人日本学術振興会	国際化拠点整備事業の審査・評価	19	-	-